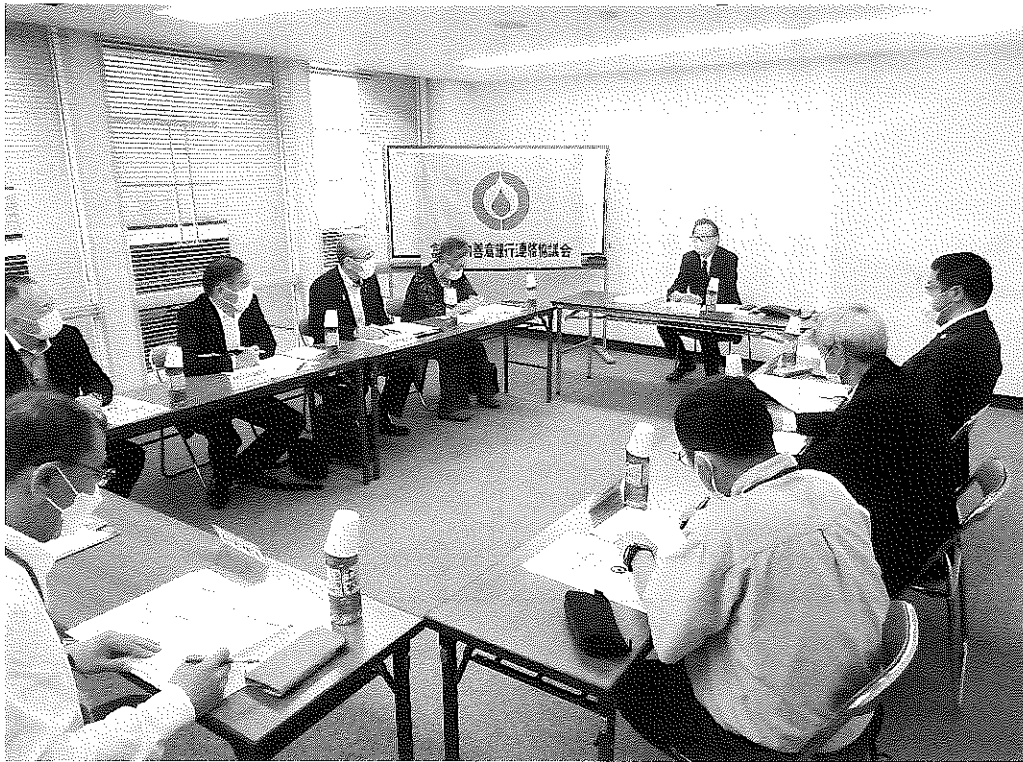


富山善銀

第167号

発行所
公益社団法人
富山県善意銀行
富山市桜橋通り1-18
北日本桜橋ビル5階
電話・FAX(076)431-2239
印刷所
北日本印刷株式会社



【令和5年度 県内善銀連絡協議会を開催】

私たちの活動

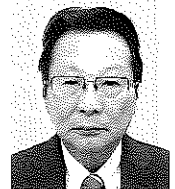
(1) 親切善行活動

(2) 福祉活動

(3) 啓発活動

(4) 貸し出し活動

(5) 拡充活動



ユーラシア大陸を駆け巡る

公益社団法人 富山県善意銀行

理事長 河合 隆

恩師の山口博先生(富山大学・聖徳大学名誉教授 国文学)が「ソグド文化回廊の中の日本」を上梓された。函入り上製本の研究書である。私がこの研究書を語るのには無茶なことと自覚しつつ、紹介したい。

本著は「第一 ソグド人の編」「第二 ソグド人日本渡来の編」「第三 ソグド壁画の編」「第四 ソグドによる神話等伝来の編」「第五 歌舞好きのソグド人の編」の五編からなる。ソグドをキーにギリシャからユーラシア大陸を駆け巡り、東端の日本に至る多彩な文化の伝播を膨大な資料を駆使して探究する。

まずはソグド人だが、中央アジアのウズベキスタン、タジキスタンなどの都市連合国家ソグディアナに住んだイラン系民族である。前漢の頃からシルクロード交易に活躍した。唐時代には長安をはじめ各地にコロニーを築いた。国際感覚と社交性を備えたやり手の商社マンである。長安は音楽、ファッション、舞踏などの西域ブームが巻き起こった。

本著の中で門外漢にも楽しいのはスサノオの八岐大蛇退治伝説である。多頭の竜蛇退治はギリシャ神話に多くみられ、中東やモンゴルへ伝わる。スサノオ・櫛名田比売はベルセウス・アンドロメダ神話拡散の東端と位置付けている。また、「イソップ物語」の金の斧に関する歌が能登国の歌として「万葉集」に収録されていること、「記紀」に登場する天稚彦が高天原からの「返し矢」で殺された話のルーツはメソポタミアの「スーの神話」にあることも紹介している。いずれもソグドが伝えた物語である。

古代はおおらかだ。狭やかなナシヨナリズムで他の文化を排することはない。すべてが融合していく。本著を読んでそんな思いを強くした。

山口先生はいま九十一歳。半世紀に及ぶ研究で、この大作をまとめられた。その情熱と気力にただただ敬服するしかない。いまは千葉県にお住まい。不肖の弟子は、再びお会いできることを乞い願うばかりである。

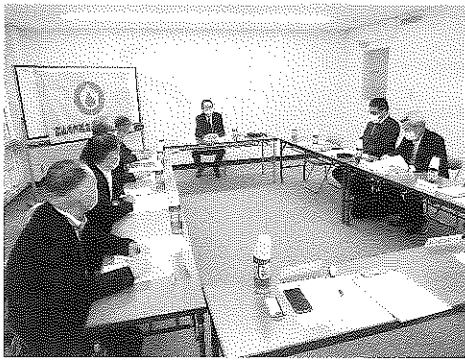
4年ぶりに

「県内善銀連絡協議会」を

開催しました

令和5年度県内善銀連絡協議会を6月5日(月)に北日本桜橋ビル3階会議室で開催しました。コロナ禍のため4年ぶりの実施となりました。県内14善意銀行の内、10行も参加していただきました。

開会に当たり、河合理事長が「共同募金会や社会福祉協議会、善意銀行が生活に困窮している方々への支援に努めている。その中でも善意銀行が柔軟に活動を行える。コロナ禍によってコミュニケーションが薄くなった中で、善意銀行の活動の意味が問われており、より充実した活動に取り組めるようにお互いに情報交換をしたい」と挨拶をしました。



長原事務局長より、富山県内善意銀行連絡協議会の令和4年度の事業報告、会費共同事業費の報告、令和5年度共同事業の予定について報告説明を行いました。その中で、共同事業費の費用等について質問があ

り、詳しく説明を行いました。その後、県内の各善意銀行の近年の取組や課題などについて話し合いました。主な意見として次のようなものが出ました。

- ・社会福祉協議会と善意銀行の活動に重なりが多く、住み分けが難しい。
- ・寄付金は年によって波が大きく状況を見て活動や補助を行わなければならない難しさがある。傾向としては、寄付金は減少傾向で指定寄付が多くなっている。
- ・色紙展は収益が減少してきており、手間がかかることから取りやめる善意銀行も出てきている。
- ・親切運動の精神は非常に貴重なものであり、善意銀行の活動の精神的支柱になっている。ぜひ、今後も推進していきたい。もっと周知するために、小学校低学年に何かを配布する事も考えてみたのだろうか。
- ・社協と活動とも連携してフードドライブを実施している。ボランティアの協力がなければ実施は難しい。シングルマザーなど受領希望者が増えてきており、プライバシーを守るようにして配布している。
- ・募金よりも、物品(おむつ、お米、野菜、食品、手編み作品など)の寄付が増えている。子ども食堂や地域食堂、社会福祉施設に配分している。

このように、各善意銀行の活動や悩みなどを出し合いながら、約90分にわたって貴重な情報交換ができ、自行の取組を見直すことができました。充実した会合になりました。

総会で新役員が承認されました

令和5年度会員総会を6月9日(金)に電気ビルで開催しました。主な議題は、令和4年度収支決算書、監査報告、役員改選、定款の変更です。

本人出席29名、委任状出席647名、計676名の出席により、上記の議案についてすべて承認されました。4年ぶりに、顧問、参与の皆様にも出席していただき、善意銀行の活動や会計について、理解していただけました。

新役員として、横田美香副理事長、大岩久七理事、武内孝憲理事、北岡勝監事の4氏が就任しました。寺林敏副理事長、武内保衛理事、北岡勝理事、清水清信監事は任期満了で退任されました。退任される寺林副理事長から「富山県善意銀行のために尽力できたことはうれしいことです。今後とも県民に善意銀行が認識され、さらに発展されるよう祈っています」と5月理事会で言葉をいただきました。長年にわたる、富山県善意銀行へのご協力に深く感謝申し上げます。

令和4年度 正味財産増減計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位：円)

私たちの活動

(1) 親切善行活動

(2) 福祉活動

(3) 啓発活動

(4) 貸し出し活動

(5) 拡充活動

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会員費	[7,196,127]	[6,927,052]	[269,075]
正会費	3,682,210	3,744,000	△ 61,790
特別会費	3,513,917	3,183,052	330,865
受取補助金等	[981,000]	[981,000]	[0]
受取地方公共団体助成金	0	81,000	△ 81,000
受取補助金等振替額	981,000	900,000	81,000
受取寄付金	[14,818,377]	[11,655,310]	[3,163,067]
受取寄付金	7,845,163	8,290,446	△ 445,283
受取寄付金	189,853	358,187	△ 168,334
受取寄付金振替額	6,783,361	3,006,677	3,776,684
特定資産運用益	[9]	[6]	[3]
特定資産受取利息	9	6	3
雑収	[141]	[117]	[24]
受取利息	141	117	24
経常収益計	22,995,654	19,563,485	3,432,169
(2) 経常費用			
事業費	[17,958,548]	[15,380,316]	[2,578,232]
給料	3,656,326	3,568,920	87,406
福利信託	632,435	641,442	△ 9,007
減価償却	529,520	528,427	1,093
消耗品	26,244	26,244	0
印刷製本	22,935	28,313	△ 5,378
光熱水料	519,080	564,704	△ 45,624
光熱水借入金	48,738	48,680	58
質借料	968,326	952,776	15,550
支払貸出金	4,416,900	5,803,347	△ 1,386,447
定職給付	6,480,361	2,573,677	3,906,684
退職給付	346,500	341,249	5,251
雑費	245,700	227,700	18,000
雑	65,483	74,837	△ 9,354
管理費	[3,077,787]	[3,142,661]	[△ 64,874]
給料	406,258	406,547	△ 289
福利信託	70,271	71,271	△ 1,000
減価償却	50,000	50,000	0
消耗品	335,853	361,980	△ 26,127
印刷製本	2,916	2,916	0
光熱水料	546,818	557,194	△ 10,376
光熱水借入金	341,235	344,502	△ 3,267
質借料	5,415	5,409	6
支払貸出金	391,591	397,429	△ 5,838
定職給付	483,550	471,456	12,094
退職給付	29,500	34,500	△ 5,000
雑	(133,956)	(123,175)	(10,781)
総理事務	89,773	82,965	6,808
新開	44,183	40,210	3,973
退職給付	47,360	47,360	0
雑	38,500	37,917	583
退職給付	27,300	25,300	2,000
雑	167,264	205,705	△ 38,441
経常費用計	21,036,335	18,522,977	2,513,358
評価損益等調整前当期経常増減額	1,959,319	1,040,508	918,811
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,959,319	1,040,508	918,811
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,959,319	1,040,508	918,811
一般正味財産期首残高	9,145,091	8,104,583	1,040,508
一般正味財産期末残高	11,104,410	9,145,091	1,959,319
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金	[981,000]	[981,000]	[0]
受取地方公共団体助成金	900,000	900,000	0
受取地方公共団体助成金	81,000	81,000	0
受取寄付金	[8,968,212]	[6,506,677]	[2,461,535]
受取寄付金	8,968,212	6,506,677	2,461,535
一般正味財産への振替額	[△ 7,764,361]	[△ 3,987,677]	[△ 3,776,684]
一般正味財産への振替額	(△ 7,764,361)	(△ 3,987,677)	(△ 3,776,684)
地方公共団体補助金	△ 900,000	△ 900,000	0
地方公共団体補助金	△ 81,000	△ 81,000	0
寄附	△ 6,783,361	△ 3,006,677	△ 3,776,684
当期指定正味財産増減額	2,184,851	3,500,000	△ 1,315,149
指定正味財産期首残高	3,500,000	0	3,500,000
指定正味財産期末残高	5,684,851	3,500,000	2,184,851
III 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
IV 正味財産期末残高	16,789,261	12,645,091	4,144,170

令和5年度 収支予算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	[6,400,000]	[6,600,000]	[△ 200,000]
正会員受取会費	3,600,000	3,800,000	△ 200,000
特別会員受取会費	2,800,000	2,800,000	0
受取補助金等	[1,981,000]	[981,000]	[1,000,000]
受取補助金等振替額	1,981,000	981,000	1,000,000
受取寄付金	[9,400,000]	[8,800,000]	[600,000]
受取寄付金	6,500,000	6,000,000	500,000
募取金	200,000	300,000	△ 100,000
受取寄付金振替額	2,700,000	2,500,000	200,000
雑収益	[13,100]	[13,100]	[0]
受取利息	100	100	0
雑収益	13,000	13,000	0
経常収益計	17,794,100	16,394,100	1,400,000
(2) 経常費用			
事業費	[17,444,000]	[15,755,000]	[1,689,000]
給料厚生当	3,748,500	3,663,750	84,750
福利厚生費	648,000	648,000	0
運賃搬却	810,000	720,000	90,000
減価償却	27,000	27,000	0
消耗品	70,000	70,000	0
印刷製本	725,000	725,000	0
光熱水料	63,000	63,000	0
貸借料	1,160,000	1,160,000	0
諸謝金	120,000	120,000	0
支払助成金	6,820,000	5,320,000	1,500,000
指定貸出事業	2,500,000	2,500,000	0
賞与引当金	346,500	341,250	5,250
退職給付	261,000	252,000	9,000
雑費	145,000	145,000	0
管理費	[4,441,000]	[3,700,000]	[741,000]
給料厚生当	416,500	407,083	9,417
福利厚生費	72,000	72,000	0
旅費交通	50,000	80,000	△ 30,000
運賃搬却	415,000	405,000	10,000
減価償却	3,000	3,000	0
消耗品	100,000	50,000	50,000
消耗品	560,000	460,000	100,000
印刷製本	1,175,000	575,000	600,000
光熱水料	7,000	7,000	0
貸借料	445,000	445,000	0
諸謝金	550,000	550,000	0
支払負担	50,000	50,000	0
総会議費	[220,000]	[220,000]	[0]
総会議費	100,000	100,000	0
理事会費	60,000	60,000	0
新開飲食	60,000	60,000	0
賞与引当	50,000	50,000	0
退職給付	38,500	37,917	583
雑費	29,000	28,000	1,000
雑費	260,000	260,000	0
経常費用計	21,885,000	19,455,000	2,430,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 4,090,900	△ 3,060,900	△ 1,030,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 4,090,900	△ 3,060,900	△ 1,030,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 4,090,900	△ 3,060,900	△ 1,030,000
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	△ 4,090,900	△ 3,060,900	△ 1,030,000
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	[1,981,000]	[981,000]	[1,000,000]
受取地方公共団体補助金	1,400,000	900,000	500,000
受取民間補助金	500,000	0	500,000
受取地方公共団体助成金	81,000	81,000	0
受取寄付金	[2,700,000]	[2,500,000]	[200,000]
受取寄付金	2,700,000	2,500,000	200,000
一般正味財産への振替額	[△ 4,681,000]	[△ 3,481,000]	[△ 1,200,000]
一般正味財産への振替額	[△ 4,681,000]	[△ 3,481,000]	[△ 1,200,000]
地方公共団体補助金	△ 1,400,000	△ 900,000	△ 500,000
民間補助金	△ 500,000	0	△ 500,000
地方公共団体助成金	△ 81,000	△ 81,000	0
寄付金	△ 2,700,000	△ 2,500,000	△ 200,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
IV 正味財産期末残高	△ 4,090,900	△ 3,060,900	△ 1,030,000

親切運動推進協力委嘱校の取組紹介 親切運動の輪が広がっています

私たちの活動 (1) 親切善行活動 (2) 福祉活動 (3) 啓発活動 (4) 貸し出し活動 (5) 拡充活動

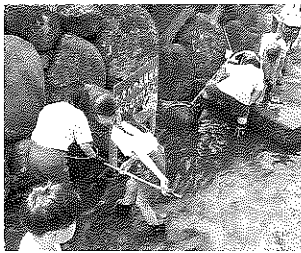
ふるさとの川でつながる親切運動

舟橋村立舟橋小学校



昨年度から取り組んでいる「ふるさとの川でつながる環境教育」では、中核的な学習を進めてきた卒業生(現・中1)の意志を受け継ぎ、今年度も6年生が川を清掃したり、4年生が生き物の調査を行ったりしている。また、村長や村議会に水辺の生物保護と環境整備について提案したことを受け、行政が環境保全のための「看板設置」や村民対象の「川の美化活動」に向けての準備を進めている。

今後は、中学生との「合同総合」で意見交換をしたり、多くの村民と共に川清掃を行ったりすることで、周りの人たちの思いや願いにも触れることになる。これらの活動を通して、子供たちは自分を見つめ、他者との関わり方、自然との関わり方、集団や社会との関わり方について自己の考えを深め、思いやる心も培われていくものと考えている。



の思いや願いにも触れることになる。これらの活動を通して、子供たちは自分を見つめ、他者との関わり方、自然との関わり方、集団や社会との関わり方について自己の考えを深め、思いやる心も培われていくものと考えている。

「かがやき☆古府っ子」で笑顔の学校

高岡市立古府小学校

本校では、毎年「かがやき☆古府っ子」運動に取り組んでいます。

気持ちを込めた挨拶の活動として、「名前付き挨拶」を奨励しています。「○○先生、こんにちは」等、相手を意識してしっかり伝わるように挨拶をします。近隣の高校校生と一緒に挨拶をする「さわやか運動」も行いました。

また、「かがやきレター運動」にも取り組んでいます。「遊びに誘ってくれてうれしかったよ」「今日はたくさん発表していたね」等、相手に伝えたい感謝や頑張りをミニレターに書いてポストに入れると、福祉・ボランティア委員が仕分けして各学級に届けます。

これからも「かがやき☆古府っ子」運動を続け今年度の児童会のスローガンにある言葉「笑顔の学校」となるように、活動を続けていきます。

- 「か」感謝
- 「が」がんばり
- 「や」やさしさ
- 「き」気持ちを込めた挨拶



小中連携で行う地域貢献と親切運動

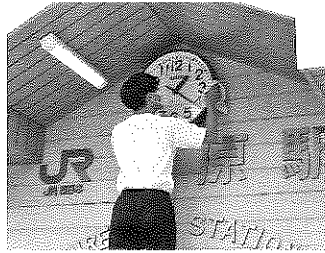
富山市立楡原中学校

楡原中学校は神通碧小学校との併設校であり、小中合同で様々な活動を行っている。その活動の1つに、小中合同ボランティア清掃がある。

毎年、6月に楡原駅の清掃と小学校のプール清掃、10月に剱山森林公園の天湖森の清掃を全校生徒で行っている。生徒会執行部が主体となり、清掃箇所や必要な道具、班の割り振り等の企画、運営をしている。

中学生が小学生の手本となって、優しく接しながら活動を行った。中学生にとって、先輩として頼られることで、後輩への思いやりの気持ちや活動の充実感、自己有用感を味わうことができる活動となり、小中連携のよさを感じることができた。

また、楡原駅や天湖森の清掃を行うことで、地域に対する感謝の気持ちや善意の心を育むことができていたため、今後も積極的に継続して活動をしていきたい。



みんなが取り組む親切運動

富山県立小矢部園芸高等学校

1 清掃美化活動

生徒会自治委員会が主体となり、全校生徒参加で学校周辺の道路沿いのごみ拾い等を行い、地域の美化に努めている。

2 さわやか運動

近隣の大谷小学校と大谷中学校と3校合同でのあいさつ運動を行っている。

3 花プランターの設置

草花系列で学んでいる生徒が中心となり、近隣の駅や警察署、郵便局、JA支店等に、学校で栽培した季節の花のプランターを設置し、地域の環境整備に取り組み、思いやりの心を育んでいる。

4 特別養護老人ホームでのボランティア

市内の特別養護老人ホーム「清楽園」で行われている清楽園祭の模擬店スタッフとしてボランティアに参加している。また、専攻科の生徒を中心に、ボランティアとして雪崩りを行っている。

